

吉野復興大臣の栃木県訪問ぶら下がり会見録
(平成29年8月10日(木)11:50～11:55 於) 日光市下今市駅)

1. 発言要旨

(S L「大樹」出発式典について) 素晴らしいことだと思います。復興、特に観光の面が今遅れておりますので、東武鉄道さんは、浅草から会津までつながっているわけでありますので、このS L「大樹」、こういう大きな観光の目玉になる事業を行ったということは、東北の復興、特に観光分野での復興、ここに大きな力を発揮する、このように思います。

以上です。

2. 質疑応答

(問) S Lというのは、復興にも一役買うということですね。

(答) そうです。

(問) 今、全国各地でいろいろな観光列車とかが走っているではないですか。やっぱり鉄道というのも復興に役立つというところなんではないでしょうか。

(答) そうですね。やっぱり、鉄道、特にS Lの場合は、もう私は高校時代まではS Lで通っていたものですから、本当に懐かしく、そして、観光振興のためにも大いなる力を発揮してくれるものがS L、このように考えます。

(問) どちらかという、若い世代には結構縁遠いというか、かなり遠い存在のような気もするんですが、その辺はどうですか。

(答) でも、若い方々にもS Lの良さ、魅力、こういうものをいっぱい感じていただいて、S Lを大好きになってください。特に、写真家、写真を愛好する方々は、S Lのあの煙をモクモクと出す、そういうところがかなり画になると思いますので、大好きになってください。

(問) やっぱり、このS L「大樹」は、東北のある意味窓口となるこの栃木で走るということで、存在は大きいですか。

(答) やっぱり観光というと大都会、東京、浅草から栃木を通過して、福島に、特に会津に来るわけですので、そういう意味では、そこにS Lができたということは、リバティ会津というの、東武鉄道さんで走らせていただいておりますけれども、そこに大きな戦力が加わったということは、東北の観光復興にとって、本当にありがたいことです。

(問) 会津方面なんですけれども、観光の復興というのは、やっぱりまだそれほど進んでいないということになるんでしょうか。

(答) 震災前から比べると、75%ぐらいまでは回復しているんです

けれども、まだ、いわゆる教育旅行、修学旅行等々のものがあまり回復しておりません。

ですから、例えば、この間は、横浜市の学校の先生85人が、福島県に来ていただいて、福島県のよさ、そして、大丈夫なんだということを肌体験して、感じてもらっております。

そういう地道な活動を通して、教育旅行、これを復活していきたい、このように考えています。

(問) SLもその一助になるというふうにお考えになられますか。

(答) そうです。ありがとうございます。

(以 上)